

<浜松医科大学医学部附属病院>精神科

<プログラム類型>

②基本コース

<プログラム概要>

基幹施設では、精神科臨床の基本的知識に加えて、市中病院では経験しがたい児童思春期精神科医療、摂食障害、精神療法（認知行動療法、トラウマ処理、森田療法など）、治療抵抗性症例への電気けいれん療法やクロザピン治療などについて、それぞれの専門家の下で研修することが可能である。連携施設は静岡県内を中心に広く分布し、各施設が精神科救急、物質関連障害（依存症）、リエゾン・コンサルテーション精神医学、児童思春期精神医学、老年期精神医学など多彩な専門性を有している。専攻医は基本的技能を習得しながらも希少な疾患・病態への対応が可能となり、高いレベルで地域医療を支える人材の育成を目指している。なお、専門医研修と並行して、精神科医療において重要な精神保健指定医の取得も可能である。

<取得できる資格>

精神科専門医

<現時点の受入見込数>

10人

<具体的なコース>

← うち、4年間で医師不足地域で勤務 →

初期研修 2年	後期(専門)研修 3年	後期(専門)研修後(県内病院勤務) 4年
県内病院	浜松医科大学医学部附属病院に1年間勤務した後、連携施設に勤務	勤務する医療機関については、医師不足地域での勤務が4年間となるよう、県とプログラム設置機関とで協議し、県で指定します。

<勤務する医療機関> ※医師少数区域は今年度策定する医師確保計画で決定

二次医療圏	後期(専門)研修	後期(専門)研修後
賀茂		上記の通り
熱海伊東		
駿東田方	沼津中央病院、NTT東日本伊豆病院	
富士	鷹岡病院、聖明病院	
静岡	静岡県立こころの医療センター、清水駿府病院	
志太榛原	藤枝駿府病院	
中東遠	服部病院、小笠病院、菊川市立総合病院	
西部	聖隷三方原病院、天竜病院、朝山病院、神経科浜松病院、三方原病院、天王病院、浜松医療センター	